第3次 春日井市民病院 中期経営計画について

【計画策定の背景】

総務省公立病院改革ガイドライン ⇒ H21.3 春日井市民病院中期経営計画 新公立病院改革ガイドライン ⇒ H27.3 第 2 次春日井市民病院中期経営計画

|公立病院経営強化ガイドライン ⇒ 第3次春日井市民病院中期経営計画

(概要)

- 医師・看護師等の不足、人口減少・少子高齢化等により<u>持続可能な経営を確保しきれ</u>ない病院が多い
- コロナ感染拡大時に対応における公立病院の果たす役割の重要性が改めて認識された
- 今後、医師の時間外労働規制への対応も迫られ、さらに厳しい状況が見込まれる
- ・ よって、公立病院の経営を強化していくことが重要
- プランの期間は、策定年度又はその翌年度から令和9年度までを標準

【計画案の概要】

経営強化プランの内容	第3次春日井市民病院中期経営計画(案)
①役割・機能の最適化と連携の強化 ・地域医療構想等を踏まえた当該病院の果 たすべき役割・機能を記載すること ・地域包括ケアシステムの構築に向けて果 たすべき役割・機能を記載すること ・地域の中での機能分化・連携強化につい て記載すること 等	・地域の基幹病院として、高度急性期・一般急性期の病床機能と感染症の病床を有する病院とする(現在と変更なし)・地域医療支援病院として、地域の診療所や後方支援病院との連携を強化する
②医師・看護師等の確保と働き方改革 ・地域全体で協力・連携して医療体制を確保していく取組を記載すること ・医師の時間外労働の縮減の取組を記載すること	・引き続き医療スタッフを確保した上で、医師が不足する地域の医療機関へ医師を 派遣する・看護師や医療技師へのタスクシフトを推 進する
③経営形態の見直しが必要となる場合は移 行の概要を記載すること	地方公営企業法の 一部適用を継続する
④新興感染症の 感染拡大時等に備えた平時 からの取組 を記載すること	・院内感染予防対策を徹底する ・ <u>新興感染症を踏まえたBCPを策定する</u> ・防護具の適切量を備蓄する
⑤施設・設備の最適化 ・計画期間内における施設・設備に係る主 な投資について、概要を記載すること ・デジタル化への対応について記載するこ と	・施設を計画的に改修する ・ 手術支援ロボット など医療機器を計画的に導入・更新する ・医療DXを推進する ・ 医療情報セキュリティを強化する
⑥経営の効率化等・プラン期間末時点における経営指標に係る数値目標を定めること	・計画期間内は経常黒字を維持 ・ 医業収支比率100%以上 を目標とする ・ <u>修正医業収支比率</u> の項目を追加する

【計画案の内容(具体的取組)】

取組方針1 地域で果たす医療機能の充実

①救急医療の充実

- ・救命救急センターの医 師・救命救急士の確保
- ・<u>夜間・休日の緊急MRI</u> 体制の実施
- ・平日・夜間診療所との連携

②高度専門医療の提供

- <心疾患患者の診療機能の充実>
- ・心臓病センターの整備
- <がん治療の充実>
- ・<u>がんゲノム医療中核拠点病院等</u> への紹介体制の構築
- ・<u>ロボット支援手術認定プロク</u>ターの取得
- ・最新鋭の放射線治療装置への更新

③地域完結型医療の推進

- <地域医療連携の推進>
- ・地域連携パスの推進
- ・地域の医療機関との診療情報の 共有

<地域包括ケアシステムの推進>

- ・地域の医療・介護従事者等との 研修会の開催
- ・専門認定看護師による訪問看護 ステーション等の訪問

取組方針2 市民の立場に立った医療サービスの提供

①安全・安心な医療の提供

<医療の質の向上>

- ・日本病院協会推奨の医療の質評価指標を活用
- ・病院機能評価の受審
- <医療安全意識の向上>
- ・医療安全に関する職員研修の実施
- ・インシデントの分析及び対策の職員周知

<院内感染予防対策の徹底>

- ・感染予防に関する職員研修の実施
- ・院内ラウンドの実施

<チーム医療の推進>

・多職種による横断的でより効率的なチーム医 療の推進

②災害時医療の充実

<新興感染症流行下における継続した医療の提供>

- ・感染症拡大を踏まえたBCPの策定
- ・防護具などの適切な備蓄
- <災害時の医療機能の維持>
- ・トリアージ等の訓練や講習会の定期的な実施
- ・災害備蓄備品の適切な管理
- ・BCPや災害時マニュアルの見直し
- ・災害時派遣医療チームの維持及び訓練の実施

<医療情報セキュリティの強化>

- ・システムダウンに備えた訓練の実施
- ・バックアップ体制の見直し

取組方針3 健全な経営の確保

①医療スタッフの確保・育成

<勤務環境の改善>

- ・医師事務作業補助者の確保及び教育
- ・看護師や医療技師へのタスクシフトの推進
- ・医療DXの推進
- <医療スタッフの質の向上>
- ・専門資格の取得による育成支援
- ・研究発表の推進と支援
- ・研修医や専攻医の積極的な受入れと支援

②効率的な病院経営の推進

<経営意識の向上>

- ・経営状況やDPCデータの他病院との比較・ 分析結果の周知による職員の意識向上
- ・職員からの業務改善の提案

<収入の確保及び経費の節減>

- ・未収金対策の推進
- ・情報発信の推進
- ・後発医薬品等の積極的な採用
- ・適正な病床数の検討

【経営計画】

○高額医療機器の購入や新棟の開設に伴う減価償却費の増加もあるが、**令和9年度までの5年間で**

3億円程度の経常黒字を見込む

※コロナによる病床確保はないものして推計